

新型コロナウイルス対策についての生協への要望

この『2020年度大阪府立大学における新型コロナウイルス対応についての学生意見調査について』は、2020年5月14日から28日まで行ったアンケートをもとに作成し、2020年6月12日に大阪府立大学生生活協同組合(生協)に提出しました。なお、これは厳密には要望書ではありませんが、それに準ずるものとして本誌に概要を掲載しています。

概要は以下の通りです。

1.教科書販売について

要望

2020年前期講義のために行われた教科書のオンライン販売には「送料が高い」、「無駄な手続きがある」、「販売会社が異なることによってキャンパス間の格差が生じている」という3つの問題がありました。そのため、自治会は4つのことを生協に要望しました。それらは、「注文金額が1万円を超えれば送料を無料とするなど、特定条件下における送料免除」、「組会員証を送ることなくオンライン決済に対応」、「専門書など指定された教科書以外の書籍も一緒に送れるようにする」、そして、「羽曳野キャンパスの書店から生協に変える、もしくは、生協に在庫を一定数置く」です。

2.実習着・実習靴・安全眼鏡について

要望

実験に必要な道具に関する情報宣伝が行われていないことは問題であると考えたため、「実験に必要な物の販売日、販売場所の公表」を生協に要望しました。

3.食堂などについて

要望

コロナによる影響で学生が経済的に困窮しているため、「組会員限定の割引制度または他大学のようなクーポン券の配布などの生活費支援の検討」を要望しました。

4.新入生対象イベントについて

要望

生協の保護者説明会等がなくなり、生協の使い方が分からない新入生の存在が懸念されるため、「生協商品と生協の利用方法等を説明する説明会開催の検討」を要望しました。

5.就活生イベントについて

要望

オフラインでの就活イベントを望む学生が存在するため、「オフラインでの就活イベントの実施に関する検討」を要望しました。